

「デジタルトランスフォーメーション戦略」を策定

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、「デジタルトランスフォーメーション戦略」を策定しましたので、お知らせいたします。

当社は、2020年4月より、10年後にめざす姿を「『ひとに健康を、まちに元気を。』最も身近なリーディング生保へ」と定めた10年計画「MY Mutual Way 2030」^{※1}を推進しています。

このうち、2020年度は、当初予定していた3ヵ年プログラムの開始時期を1年延期し、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う環境変化をふまえ、単年度の経営計画「とことん！アフターフォロー特別計画」を推進してまいりました。

迎える2021～2023年度を、10年後にめざす姿の実現に向けた成長軌道を確保する3年間と位置づけ、「営業・サービス」「基幹機能・事務」「資産運用」「相互会社経営」の各分野において制度・インフラ等の抜本的な見直しを行なう「4『大』改革」^{※2}と、全社横断的に社会貢献の取組みを行なう「2『大』プロジェクト」^{※2}に、経営資源を優先的に配賦する3ヵ年プログラム「MY Mutual Way I期」を推進いたします。

そして、これら「4『大』改革」「2『大』プロジェクト」と一体的かつ整合的に推進することで、「10年後にめざす姿」の実現に向けた「フェーズチェンジ」をさらに加速していくため、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いデジタル化が加速する環境において、デジタル技術のより積極的な活用を通じて事業運営の再構築に取り組む「デジタルトランスフォーメーション戦略」（以下、DX戦略）を新たに策定し、全社横断的な取組みを進めてまいります。

※1 「MY Mutual Way 2030」については、2020年5月22日リリース『明治安田生命 新たな10年計画「MY Mutual Way 2030」（2020～2029年度）を策定』を参照

URL : https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2020/pdf/20200522_01.pdf

※2 「大」改革とプロジェクトの「大」は、新たな価値の提供や制度・インフラ等の抜本的な見直しに向けて、全社で結集し経営資源を集中的に投下することを含意

【DX戦略の取組方針】

取組方針	概要
①人の役割の高度化	人が付加価値の高い業務や新たな役割に集中できる営業・サービス態勢の確立
②CX・UI/UX ^{※3} の徹底追求	変化するお客さまニーズにあった先進的な商品・サービス・インフラの継続的な整備・改善
③外部との連携強化	自治体、企業、研究機関等との協働や外部資源の活用・接続
④圧倒的な効率化・高度化	コスト抑制と生産性向上を両立した業務運営態勢・業務プロセスの構築

※3 CX : Customer Experience (お客さま体験)、UI : User Interface (ユーザーがサービスを利用する際の使い方・仕組み)、UX : User Experience (ユーザー体験)

当社は、DX戦略の推進を通じて「地域のコミュニティにより深く参画し、より大きな安心と豊かさを提供し続ける明治安田生命となる」ことで、「10年後にめざす姿」の実現、ひいては、人とデジタルが融合した「信頼を得て選ばれ続ける、人に一番やさしい生命保険会社」の実現をめざしてまいります。

詳細は、別冊資料「明治安田生命のデジタルトランスフォーメーション戦略」をご参照ください。

以上